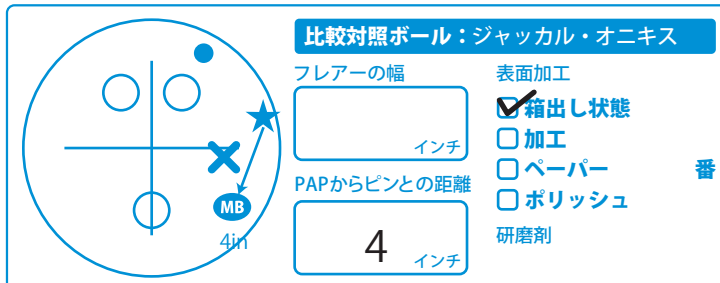
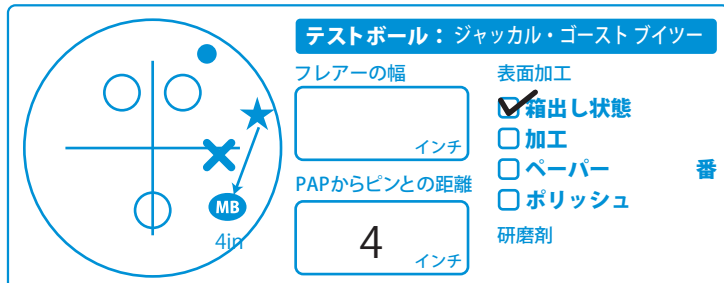


ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ジャッカル・ゴースト ブイツー		投球者	徳江 和則		センター	平和島スターボウル	
RG	2.470	ΔRG	0.054	●ピン	★PAP	✕CG	■ バランスホール	



ヘビー
ミディアム
ライト
バフ

JACKAL GHOST V2

Cover	Type	Core	RG ^(15P)	ΔRG ^(15P)	INTΔRG ^(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
LEVERAGE HFS	SOLID	PREDATOR V2	2.47	0.054	0.015	3000 GRIT LSS	65	76	80

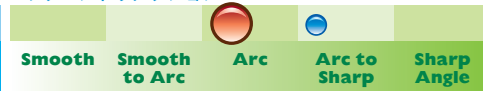
JACKAL ONYX

Cover	Type	Core	RG ^(15P)	ΔRG ^(15P)	INTΔRG ^(15P)	Surface	Skid	Backend	Hook
LEVERAGE HXC	SOLID	PREDATOR V2	2.47	0.054	0.015	1000 GRIT LSS	53	70	87

レーンコンディション



バックエンドリアクション



レンジス



ボールの評価

約10年もの間、MOTIVを代表するヘビーオイル対応モデルとして高い支持を集めてきた「JACKAL GHOST」が、現代のレーンコンディションに対応した「JACKAL GHOST V2」として復活しました。開発コンセプトは、初代GHOSTが持つ完成されたアークモーションを継承しながら、高ボリューム化したオイル環境でも同等以上のパフォーマンスを発揮することです。

最大の進化は、新採用されたLeverage HFS Reactiveカバーストックにあります。初代GHOSTの安定した転がりと滑らかな曲がりを受け継ぎながら、現代の厚いオイルでも中盤から確実に路面を捉え、バックエンドまで回転エネルギーを維持したまま力強い継続性を生み出し、ヘビーコンディションでも安心して攻められる性能へと進化しました。

コアには高い評価を受け続けるPredator V2非対称コアを継続採用。完成度の高いコア性能はそのままに、新カバーとの組み合わせによって、オイル内での安定感とピン前での強さがさらに引き上げられています。実際に投球すると、オイルをしっかり捉えながらも、レーン奥での曲がりの勢いは失われず、最後まで厚みのあるピンアクションを感じました。もっと手前からモーションがかかる初代の劇的な強さは、現代のオイルコンディションの変化とともに、動きをロスさせない中盤から後半の強さに変更されていますが、それでもやはりJACKAL GHOSTを感じさせます。

同じJACKALシリーズの「JACKAL ONYX」と比較すると、その違いは明確です。ONYXが早めのブレーキと早めの転がりと滑らかなアークによるコントロール性能を重視しているのに対し、GHOST V2はスキッドを確保しながら、より奥で大きく向きを変え、強い継続性を発揮します。ONYXでは曲がり始めが早く感じるコンディションでも、GHOST V2はよりスムーズなスキッドとバックエンドの力強さによって、また新たなラインを選択できる一球に仕上がっています。初代GHOSTの魅力を現代版として完成させた、JACKALシリーズの新たなヘビーオイル基準球と言えるでしょう。

特記事項

カバーストックの変更でフロントエリアのロスが最小限に抑えられ、ミッドレーンからの動きが初代よりも明瞭にアクティブに表現されています。